

猫と缶詰とお四

はじめに

猫たちがお腹を空かせています。
お腹を空かせた猫たちを満足させるのは、貴方の使命です。
そしてそのためには缶詰、通称「猫缶」を積み重ねなければなりません。
なぜ猫缶を積み重ねなければならぬのかは世界の七不思議の一つに
数えられますが、とにかく積み重ねなければなりません。そうしないとゲー
ムが始まらないからです。

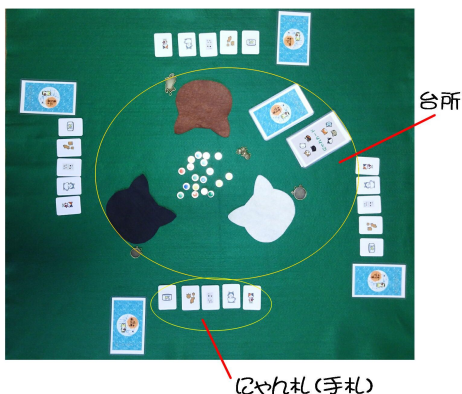
要するに、このゲームは積みゲーです。
積みゲーといっても、買ったまま放置されて忘れ去られるゲームのこ
とではありません。
いや、もしかしたらそうなる可能性も否定は出来ないのですが、そう
ならないことを祈ります。

内容物

このゲームには以下の物が含まれます。個数などをお確かめくださ
い。

じゃんシート 3枚 黒茶名 枚)
缶詰つマ 猫缶) 8個 赤青黄緑名4個、金2個)
猫 2匹 2種類)
お四 3枚 2種類)
じゃん札 5枚 X5セット
ぽーじャあカード 9枚
じゃんカード 5枚
スタートプレイヤーカード 枚
ルール 部

万一不足物や破損物がある場合は、下記までご連絡下さい。
mokotacat@jcom.home.ne.jp



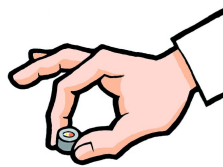
缶詰つマに関する注意事項など

本作品の缶詰つマには、ボタン電池を使用しています。
表面にシールを貼って絶縁していますが、液漏れやショートを起こす危
険性があります。取り扱いには十分注意してください。
また、缶詰つマは大変小さいものです。小さなお子様や猫さん、犬さ
んが誤飲しないように十分注意してください。



猫缶の積みみ方

下記のイラストを参照して、正しい持ち方でゲームをお楽しみくださ
い。



基本的な積みみ方は、利き腕の親指と人差し指で積みみます。
重ねる時は、他の猫缶やお四に触れてはいけません。
一度猫缶から指を離したら、再び触ってはいけません。

ぽーじャあカード



上半分は、1人～5人用ゲームで使用します。各色の猫缶の下に書
かれている数字がその猫缶の得点となります。
下半分(緑色のボックス内)は、2～3人用ゲームで使用します。

B～5人用ゲーム

ゲームの準備

まず、スタートプレイヤーを決定します。

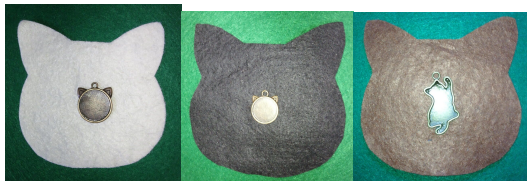
スタートプレイヤーは通常、猫年の月生まれの人とします。月生まれの人がない時は2月、3月と繰り下げていきます。

万一、猫年生まれの人がない場合は、ジャンケンで決めてください。

①各プレイヤーはそれぞれ にゃん札をむitty 猫缶、お四、カード 猫×2（計5枚）ずつ手元に置きます。

②にゃんシートを 台所Jの中央付近に置きます。この時、3人プレイの場合は2枚使用します。4人以上の時は3枚使用します。

白いにゃんシートには丸い大きなお四を使用します。黒いにゃんシートには丸い小さなお四を使用します。茶色のシートは猫のお四を使用します（※を参照）。それぞれのにゃんシートの脇に該当するお四を置いてください。



白 太

黒 小

茶 猫

③すべての猫缶の裏（わーしーJの貼ってある面）を上にして 台所Jに置きます。

④スタートプレイヤーはぼーにゃあカードをよく切り、各プレイヤーに2枚ずつ配ります（5人プレイの場合は後述）。各プレイヤーはぼーにゃあカードを見て、枚を手元に残し、枚を裏のまま台所に戻します。

⑤スタートプレイヤーは戻されたぼーにゃあカードをよく切り、台所の脇に置きます。また、5枚のにゃんカードもよくシャッフルし、台所の脇に置きます。

※5人プレイの時はスタートプレイヤー以外の4人に2枚ずつ配ります。その後、戻された4枚に残っていた枚を合わせた5枚の中から、スタートプレイヤーは任意の枚を選んで手元に置きます。

プレイ手順

各プレイヤーは、このラウンドのアクションを決めて、にゃん札を裏にして前に出します。

全員がにゃん札を出したら、各プレイヤーは「にゃあ！」とかけ声をか

けて一斉にオープンします。

スタートプレイヤーから順に、自分の出したにゃん札のアクションを実行し、全員が終ったらスタートプレイヤーマーカーを左隣のプレイヤーに移します。

次のラウンドを開始します。

にゃん札

各にゃん札のアクション内容は以下の通りです。



猫缶……台所にある猫缶の一つを選び、裏面を下にしていそれかのにゃんシートに置きます。すでに猫缶がお四が置かれている場合、その上に積みみます。



お四……いそれかのにゃんシートにお四を置きます。ただしお四は一番下には置けません。



猫……猫缶とお四が置かれているいそれかのにゃんシートの山の一番上に置きます。お四の置かれていないにゃんシートの山には猫を積みません。

この時に使用する猫はカードに描かれた猫と同じ猫を使用します。崩さずに置いたら、そのにゃんシートの猫缶を全て獲得します。その後、お四はにゃんシートの脇に戻します。



にゃんカード……台所からにゃんカードを1枚引きます。

猫札とにゃんカードは目のみ使用可能です。使い終わったらまとめて脇に置いておきます。

にゃん札をオープンした時に、同じ猫札を複数のプレイヤーが出していた場合、これらの猫札はすべて捨てられます（使用できません）。ただし、にゃんカード札を代わりに捨てること、その猫札を手札に戻すことができます。

この処理はスタートプレイヤーのアクション開始前に行なわれます。

にゃんカード

引いたにゃんカードは、使用するまで取っておいて構いません。

にゃんカードは、自分の手番ににゃん札を使用する代わりに使用します。その際、出していたにゃん札は内容に照らお手札に戻します。

例) プレイヤーAはこのラウンドに猫缶札を出していました。プレイヤーAは自分の手番に猫缶札を手元に戻し、にゃんカードを使用することにしました。



🐱 ペナルティ

猫缶、お四、猫を乗せた時に、崩れてしまった場合にはペナルティが発生します。これは最後に乗せたものだけが落ちた場合でも同じです。

山を崩したプレイヤーが明らか場合は以下のような処理を行います。

① 崩れた山にあった缶詰を裏にして 色がわからないようにして、自分以外のプレイヤーに分けます。

② またそのラウンドのスタートプレイヤーに個渡し、以下時計回りに1個ずつ配ります。回しても余る場合は、さらに上記の要領で配ります。崩したプレイヤーはもらえません。

なお、崩したプレイヤーがスタートプレイヤーだった場合には、スタートプレイヤーの左隣のプレイヤーから配り始めます。

山が崩れた原因が特定のプレイヤーではない場合 (たとえば地震など、あるいは特定が難しい場合は、崩れた山の猫缶をあべてストックに戻します。

🐱 ゲームの終了と勝敗判定

以下のいずれかの状況になるとゲームは終了します。

① 台所の猫缶がなくなった瞬間

② 全プレイヤーの猫札が使用された場合、そのラウンドの終了時

③ 4人以上のプレイの時) にゃん札をオープンにした時、全員がお四のカードだった場合。

猫缶札を出して台所の猫缶が0になった場合、最後の猫缶を置くところまでプレイします。その結果、山が崩れたら1-1(通い)分配を行ない、その後ゲームは終了します。

②の場合は、可能であれば猫を置くところまでプレイしてかまいません。

ゲームが終了したら、自分のほーにゃあカードと所有する猫缶を確認し、得点を計算します。

この時、金の缶詰は3点分となります。

もっとも得点が多いプレイヤーが勝者です。今後、年間で猫に愛されることでしょう。

🐱 選択1-1-1

以下の1-1-1はプレイヤー間で合意のうえ、使用してください。

スタートプレイヤーのみは、交渉を行なうことができます。

交渉を行なう相手はラウンドにつき1人までです。

スタートプレイヤーは交渉する相手を指名し、自分が差し出す猫缶の色と数を宣言し、相手に対して欲しい猫缶の色と数を告げます。

交渉が成立したらお互いに猫缶を交換します。

2〜3人用ゲーム

🐱 ゲームの準備

各プレイヤーに枚数つにゃんシートを配り、手前に置きます。

ほーにゃあカードをよくシャッフルし、台所の脇に置きます。

すべての猫缶の裏 (わーしー1の貼ってある面) を上にして台所に置きます。

🐱 プレイ手順

スタートプレイヤーはほーにゃあカードを枚数つ、線のボックス内に描かれている内容と同じものを自分のにゃんシートの上に積み上げます。

続いて、左隣の人が同様にプレイします。

4つの猫缶が描かれているカードを引いた場合は、赤青黄緑のどの猫缶を選んで構いませんが、金の猫缶は選べません。また、選べる

選んでは選んで乗せなければなりません。

猫のイラストを引いた場合は、自分のにゃんシートの山の一番上に乗せ、崩れなければそこにある猫缶をあべて獲得します。

その後、あべてのぼーにゃあカードを集めてミャツツリします。

以下、台所から猫缶がなくなるまで続けます。

その他のルール

指定のものが台所にない場合は目休みです。

猫を乗せる時に、その下に皿が無くてはなりません。

枚のにゃんシートにお皿が2枚以上になることもあります。

にゃんシートに猫缶が置かれていない状態で猫カードを引いた場合は、ぼーにゃあカードを1ミャツツリして次のプレイヤーに順番を回します。

山を崩してしまった場合は、その中から無作為に1個を選んで他のプレイヤーに渡し、残りをあべて台所に戻します。

ミャツツリの時に、崩れた猫缶が1個しかない場合はその1個を台所に戻します。猫缶が1個だけの状態の時に、お皿を置こうとして失敗した場合など。

ゲームの勝敗

最後の猫缶が積まれたら、ラストチャンスが始まります。

各プレイヤーは自分の山に猫を乗せます。崩せずに乗せられたら猫缶を獲得できます。

この時に使用する猫はどちらでも構いません。また、ラストチャンスは最後に猫缶を積んだプレイヤーから順に行ないます。

ラストチャンスが終わったら、現在獲得している猫缶を数えます。

金色の猫缶は3点、それ以外は1点で、得点の最も多いプレイヤーが勝利します。

2人用ゲーム

ゲームの準備

各プレイヤーに枚ずつにゃんシートを配り、手前に置きます。

あべての猫缶を表を上にして台所に置きます。

プレイ手順

プレイヤーは以下の行動から1つを選択し、これを交互に繰り返します。

①猫缶を積む

猫缶を1個、表のまま自分のにゃんシートの上に積みます。あてにお皿が乗っていてもその上にさらに積んでも構いません。

②お皿を乗せる

あてのにゃんシートの上に1個以上の猫缶がある場合、その上にお皿を乗せることができます。

③猫を乗せる

あてにお皿が置かれている場合、その山の一番上に猫を乗せることができます。

猫を乗せても崩れなかった場合、自分のにゃんシートにある猫缶をあべて獲得します。台所の猫缶と混ざらないように脇に避けておきます。

積んでいる山を崩してしまった場合は、無作為に1個を選んで相手に渡し、残りをあべて台所に戻します。

台所から猫缶がなくなったら5カウント終了です。この時、にゃんシート上の猫缶は得点になりません。

台所から猫缶がなくなっても、最後の猫缶を積んで崩した場合はストックに戻され、ゲームは続行します。

第5カウントが終わったら、猫とお皿を相手プレイヤーと交換して第2カウントを開始します。

ゲームの勝敗

各カウントの終了時に得点を集計します。金の猫缶は2点、それ以外の猫缶は1点です。

第2カウント終了時に、より多くの得点を獲得していたプレイヤーが勝利します。

ゲームデザイン：堀場わたる

イラスト：たちはないさき

2015 ©堀場五房

